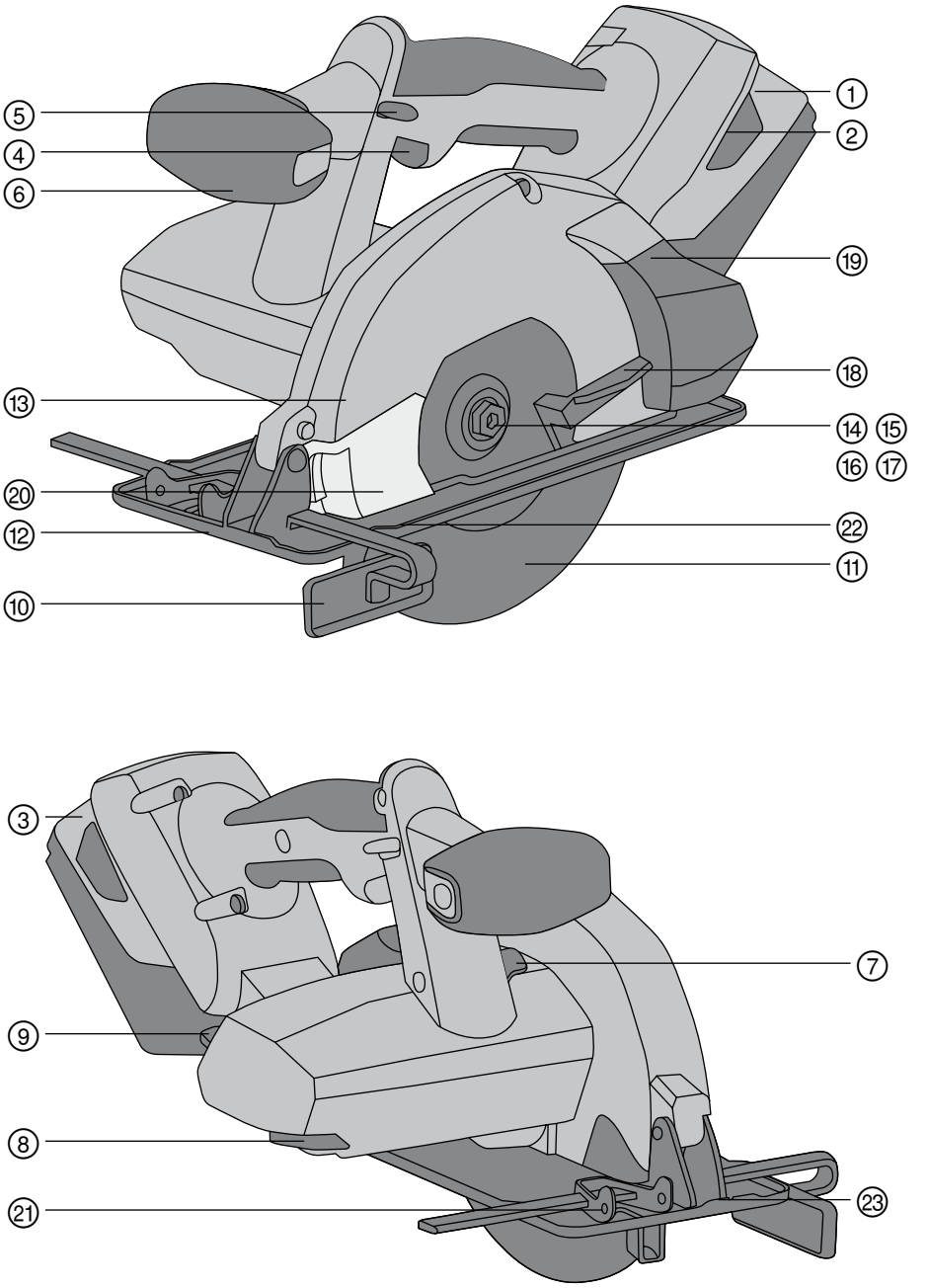
SCM 22-A

Operating instructions	en
Brugsanvisning	da
Bruksanvisning	sv
Bruksanvisning	no
Käyttöohje	fi
Инструкция по эксплуатации	ru
Ръководство за обслужване	bg
Instrucțiuni de utilizare	ro
Kullanma Talimatı	tr
دليل الاستعمال	ar
Lietošanas pamācība	lv
Instrukcija	lt
Kasutusjuhend	et
Пайдалану бойынша басшылық	kk
取扱説明書	ja
사용설명서	ko
操 作 說 明 書	zh
操作说明书	cn

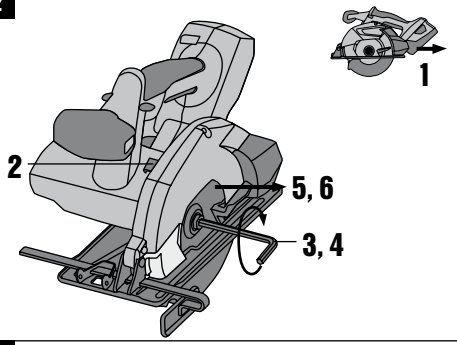
Printed: 12.03.2014 | Doc-Nr: PUB / 5075280 / 000 / 03

1

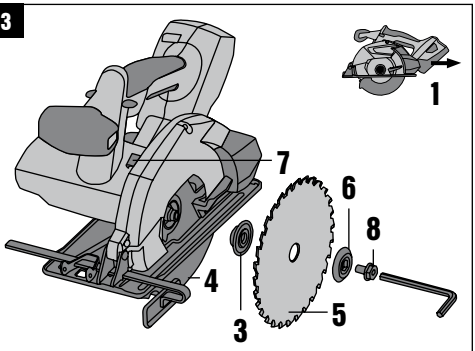


Printed: 12.03.2014 | Doc-Nr: PUB / 5075280 / 000 / 03

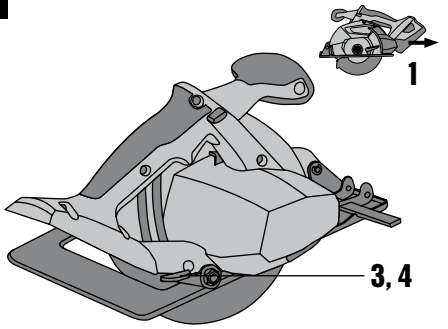
2



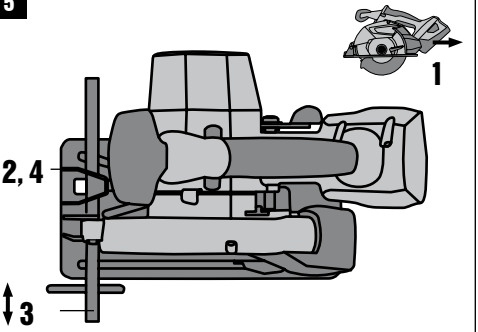
3



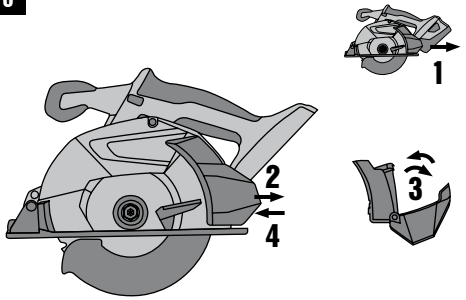
4



5



6



Printed: 12.03.2014 | Doc-Nr: PUB / 5075280 / 000 / 03

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。
- ご使用上の注意事項は、「⚠ 危　険」、「⚠ 警　告」と「⚠ 注　意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 危　険 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。

⚠ 警　告 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注　意 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、⚠ 注　意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

ja

⚠ 警　告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
   - 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
   - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
   - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
   - 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
   - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
   - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
   - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
   - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. 防音保護具を着用してください。
    - 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。
    - 電動工具に集塵機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。
    - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
    - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 加工するものをしっかりと固定してください。
    - 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
14. 無理な姿勢で作業をしないでください。
    - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
    - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
    - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
    - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、又は弊社営業担当に修理を依頼してください。
    - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
    - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。
16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
    - 使用しない、又は修理する場合。
    - 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
    - その他危険が予想される場合。
17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
    - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
18. 不意な始動は避けてください。
    - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
    - 電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
    - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
    - 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
    - 常識を働かせてください。
    - 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。
    - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    - 可動部分の位置調整、及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
    - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
      取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、又は弊社営業担当に修理を依頼してください。
      スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店、又は弊社営業担当に修理を依頼してください。
    - スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
    - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
      そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。
      <異常・故障例>
      - 電源コードやプラグが異常に熱い。
      - 電源コードに深いキズや変形がある。
      - コードを動かすと、通電したりしなかったりする
      - 焦げくさい臭いがする。
      - ビリビリと電気を感じる。
      - スイッチを入れても動かない　等

      すぐに電源プラグを抜いて販売店へ点検、修理を依頼してください。
22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
    - この取扱説明書、及び弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
    - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
    - 修理は、必ずお買い求めの販売店、又は弊社営業担当にお申し付けください。
    - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

電気丸のこの使用上のご注意

⚠ 警 告

- 必ずアース（接地）してください。
  （二重絶縁品、低電圧品は除く。）
- アース線をガス管に接続しないでください。
  （二重絶縁品、低電圧品は除く。）
- 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
- 安全カバーは、固定したり取り外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
- のこ刃は、銘板に表示されている範囲内のものを使用してください。また、のこ刃の歯底径 140 mm 以下は使用しないでください。
- 使用中は、本体を確実に保持してください。
- 切断する材料は必ず安定性のよい台に置いてください。
- 使用中は、電動工具類や切り屑などに手や顔などを近づけないでください。
- 切り落とし寸前や切断途中に材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
- 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。
  また、切り落とした木片がのこ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは少なくとも、のこ刃の出しろの 3 倍以上にしてください。
- 切断途中で、のこ刃を回転させたまま本体を戻そうとすると、強い反発力が生じます。その位置でスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。
- 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、又は弊社営業担当に点検・修理を依頼してください。
- 誤って落としたり、ぶつけたときは、電動工具類や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- ベンチスタンドを使用する場合は、スタンドを固定してください。
  接触予防装置を必ず付けて使用してください。
- つなぎコードは、アース中継線を備えた 3 芯コードを使用してください。（二重絶縁品、低電圧品は除く。）

⚠ 注 意

- 電動工具類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- のこ刃にひびや割れなどの異常がないことを確認してください。
- 切断砥石を使用する場合は、切断砥石にひびや割れなどの異常がないことを確認してください。
  （切断砥石使用不可品は除く。）
- 作業前に人のいない方向にのこ刃を向けて空転させ、本体の振動やのこ刃の面触れなど異常のないことを確認してください。

切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。

- 使用中は、軍手などの巻き込まれる恐れのある手袋は使用しないでください。
- 材料に釘などの異物が入っていないことを確認してください。

切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。

- ブレーキが働く時の反発力に注意してください。
  （ブレーキ付き製品の場合）
- 電動工具類でコードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 本体をバイスなどで保持してのこ刃を上向きにした使い方はしないでください。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張られたり、引っかけたりしないようにしてください。

本体を作動させたまま床などに放置しないでください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。
- ご使用上の注意事項は、「⚠ 危　険」、「⚠ 警　告」と「⚠ 注　意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 危　険 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。

⚠ 警　告 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注　意 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、⚠ 注　意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 危　険

安全作業のために：

1. 専用の指定の充電式電池パック以外を使わない。
   - 改造した電池（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池を含む）も使用しない。工具本体の性能や安全性等も損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
2. 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
3. 電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない。
4. 電池パックの端子部を金属などで接触させない。
   - 電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しない。
   - 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付ける。
   （各社判断で追加する項目とする）
5. 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しない。
   発熱・発火・破裂のおそれがあります。
6. 電池パックは専用充電器以外では充電しない。
   電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

⚠ 警　告

安全作業のために：

1. 正しく充電してください。
   - この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
   - 温度が０℃未満、又は温度が 45 ℃以上では電池パックを充電しないでください。
   - 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
   - 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
2. 感電に注意してください。
   - ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
4. 保護めがねを使用してください。
   - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
5. 防音保護具を着用してください。
   - 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
6. 加工するものをしっかりと固定してください。
   - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
7. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
   - 使用しない、又は修理する場合。
   - 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
   - その他危険が予想される場合。

8. 不意な始動は避けてください。
   - スイッチに指を掛けて運ばないでください。
   - 電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
   - この取扱説明書、及び弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
10. 電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で充分洗い、医師の治療を受けてください。
11. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。

⚠ 注 意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は鍵のかかる所に保管してください。
   - 充電工具や電池パックを、温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
4. 無理して使用しないでください。
   - 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
   - モータがロックするような無理な使い方はしないでください。
5. 作業に合った充電工具を使用してください。
   - 小形の充電工具やアタッチメントは、大形の充電工具で行う作業には使用しないでください。
   - 指定された用途以外に使用しないでください。
6. きちんとした服装で作業してください。
   - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
   - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
   - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
   - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
   - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
   - 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、又は弊社営業担当に修理を依頼してください。
   - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
   - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。
8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
   - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
   - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
   - コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。
9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
   - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
10. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
    - スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
    - 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
    - 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
    - 常識を働かせてください。
    - 疲れている場合は、使用しないでください。
13. 損傷した部品がないか点検してください。
    - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    - 可動部分の位置調整、及び締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
    - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。

- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
  取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、又は弊社営業担当に修理を依頼してください。
- スイッチで始動、及び停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。

14. 充電工具の修理は、専門店に依頼してください。
- サービスマン以外の人は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- 充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店、又は弊社営業担当にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

オリジナル取扱説明書

SCM 22-A 充電式サーキュラーソー

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書は必ず工具と一緒に保管してください。

他の人が使用する場合には、本体と取扱説明書を一緒にお渡しください。

目次	頁
1 一般的な注意	202
2 製品の説明	203
3 アクセサリー	205
4 製品仕様	205
5 安全上の注意	206
6 ご使用前に	210
7 ご使用方法	211
8 手入れと保守	212
9 故障かな？ と思った時	213
10 廃棄	214
11 本体に関するメーカー保証	214
12 EU 規格の準拠証明 （原本）	215

ja

1 この数字は該当図を示しています。 図は二つ折りの表紙の中にあります。 取扱説明書をお読みの際は、これらのページを開いてください。

この取扱説明書で 「本体」 と呼ばれる工具は、 常に SCM 22-A 充電式サーキュラーソーを指しています。

操作部 / 表示部名称 1

① バッテリーパック
② 追加機能 （充電状態インジケーター作動） 付きリリースボタン
③ 充電状態および故障インジケーター （Li-Ion バッテリーパック）
④ ON/OFF スイッチ
⑤ スイッチオンロック
⑥ 補助グリップ
⑦ スピンドルロックボタン
⑧ アレンレンチ
⑨ 切り込み深さ設定用リリースレバー
⑩ 平行ストッパー
⑪ 振動防止カバー
⑫ ベースプレート
⑬ 保護カバー
⑭ 駆動スピンドル
⑮ サポートフランジ
⑯ テンションフランジ
⑰ テンションボルト
⑱ 振動防止カバーの操作レバー
⑲ 切り屑ホルダー
⑳ LED / 覗き窓
㉑ 平行ストッパー用クランプ
㉒ ソーブレードの位置チェック
㉓ ポインター / 切断線チェック

1 一般的な注意

1.1 安全に関する表示とその意味

危険
この表記は、 重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。

警告事項
この表記は、 重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。

注意
この表記は、 軽傷あるいは所持物の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

注意事項
この表記は、 本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報を示す場合に使われます。

1.2 記号の説明と注意事項

警告表示

一般警告事項

電気に関する警告事項

腐食に関する警告事項

高温に関する警告事項

義務表示

保護メガネを着用してください

保護ヘルメットを着用してください

耳栓を着用してください

保護手袋を着用してください

粉じんの多い作業においては、防じんマスクを着用してください

略号

ご使用前に取扱説明書をお読みください

リサイクル規制部品です

電圧

直流

無負荷回転数

毎分回転数

直径

ソーブレード

機種名 ・ 製造番号の表示箇所

機種名および製造番号は本体の銘板に表示されています。 当データを御自身の取扱説明書にメモ書きしておき、 お問い合わせなどの必要な場合に引用してください。

機種名 :

製品世代 : 01

製造番号 :

ja

2 製品の説明

2.1 正しい使用

本体は手持ち式の充電式サーキュラーソーです。
本体は、 切り込み深さ 57 mm までの金属または金属に類似した作業材料の切断用の工具です。
健康を損なう恐れのある母材 （アスベストなど） への加工は許されません。
本体はプロ仕様で製作されており、 本体の使用、 保守、 修理を行うのは、 認定、 訓練された人のみに限ります。 これらの人は、 遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。 本体および付属品の、 使用法を知らない者による誤使用、 あるいは規定外使用は危険です。
作業区域としては、 建設現場、 工場での改修 ・ 改築 ・ 新築工事などが考えられます。
本体の加工や改造は許されません。
規定の特性データ （直径、 全負荷回転数、 厚さなど） に適合しないソーブレードや、 カットオフおよび研磨ディスク、 また高合金高速度鋼 （HSS 鋼） 製ソーブレードを使用してはなりません。
木材あるいは木製の作業材料、 プラスチック、 石膏、 ファイバーボードおよび複合材の切断に使用してはなりません。
本バッテリーパックを他の電気器具の電源用に使用しないでください。
けがの可能性を防ぐため、 必ずヒルティ純正の、 アクセサリーや先端工具のみを使用してください。
取扱説明書に記述されている使用、 手入れ、 保守に関する事項に留意してご使用ください。

2.2 スイッチ

スイッチオンロック付き ON/OFF スイッチ

2.3 グリップ

グリップと補助グリップ

2.4 安全機構

保護カバーと振動防止カバー

2.5 潤滑

グリス塗布

2.6 本体の過負荷および過熱保護機構

本体には電子過負荷保護機構および過熱保護機構が装備されています。 過負荷および過熱の際、 本体は自動的にオフになります。 ON/OFF スイッチを放して押し直すと、 オンになるまでに時間がかかる場合があります （本体の冷却段階）。

2.7 Li-Ion バッテリーパックの充電状態

Li-Ion バッテリーパックを使用する際には、 リリースボタンを軽く押すと （抵抗が感じられる程度まで - ロック解除はしない）、 充電状態を表示させることができます。 バッテリーパック背面のインジケーターは次の情報を提供します。

LED 点灯	LED 点滅	充電状態 C
LED 1、 2、 3、 4	-	C ≧ 75 %
LED 1、 2、 3	-	50 % ≦ C < 75 %
LED 1、 2	-	25 % ≦ C < 50 %
LED 1	-	10 % ≦ C < 25 %
-	LED 1	C < 10 %

2.8 本体標準セット構成品

1 本体
1 ソーブレード
1 アレンレンチ
1 取扱説明書
1 本体ケース （オプション）
1 カートン梱包 （オプション）
1 平行ストッパー

2.9 本体の作動に必要な追加品目

SCM 22-A には、B22/2.6Li-Ion または B22/3.3Li-Ion バッテリーパック、および C4/36、C4/36-ACS、C4/36-90 または C4/36-350 充電器が必要です。

注意事項
仕様に応じて本体標準セット構成品に含まれています。

3 アクセサリー

SCM 22-A 用アクセサリー

名称	略号
Li-Ion バッテリーパック用充電器	C 4/36
Li-Ion バッテリーパック用充電器	C 4/36-ACS
Li-Ion バッテリーパック用充電器	C 4/36-90
Li-Ion バッテリーパック用充電器	C 4/36-350
バッテリーパック	B 22/2.6 Li-Ion
バッテリーパック	B 22/3.3 Li-Ion
平行ストッパー	

推奨ソーブレード

名称	略号
ソーブレード	SC-C MU 165x20 z40 A

4 製品仕様

技術データは予告なく変更されることがあります。

本体	SCM 22-A
電圧 （直流電圧）	21.6 V
重量 （EPTA プロシージャ 01/2003 に準拠）	4.0 kg
本体寸法 （長 x 幅 x 高）	370 mm X 206 mm X 242 mm
ベースプレート寸法	248 mm X 127 mm
規定ソーブレード直径	160... 165 mm
ソーブレードのメインブレード厚	1.2 mm
切り込み幅	1.6 mm
ソーブレードの取り付け穴	20 mm
切り込み深さ	57 mm
無負荷回転数	3,500/min

注意事項
本説明書に記載されている振動レベルは、 EN 60745 に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。 電動工具を比較するのにご使用いただけます。 振動負荷の暫定的な予測にも適しています。 記載されている振動レベルは、 電動工具の主要な使用方法に対する値です。 電動工具を他の用途で使用したり、 異なる先端工具を取り付けて使用したり、 手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、 振動レベルが異なることがあります。 このような相違により、 作業時間全体で振動負荷が著しく高くなる可能性があります。 振動負荷を正確に予測するためには、 本体のスイッチをオフにしている時間や、 本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。 このような相違により、 作業時間全体で振動負荷が著しく低くなる可能性があります。 作業者を振動による作用から保護するために、 他にも安全対策を立ててください （例 : 電動工具や先端工具の手入れや保守を行う、 手を冷やさないようにする、 作業手順の計画を立てるなど）。

SCM 22-A の騒音 / 振動について (EN 60745-2-5 に準拠して測定) :
値は用途に応じて増加することがあります。

サウンドパワーレベル	88 dB (A)
サウンドプレッシャーレベル。	77 dB (A)
定格騒音レベルに対する不確実性	3 dB (A)

3 軸の振動値 (振動ベクトル合計)

金属の切断、 a_h	1.2 m/s²
不確実性 (K)	1.5 m/s²

バッテリーパック	B 22/3.3 Li-Ion	B 22/2.6 Li-Ion
電圧	21.6 V	21.6 V
容量	3.3 Ah	2.6 Ah
エネルギー含量	71.28 Wh	56.16 Wh
重量	0.78 kg	0.78 kg
セルの種類	Li-Ion	Li-Ion
セルブロック数	12	12
過放電保護	あり	あり

5 安全上の注意

注意事項

5.1 に記載された安全上の注意事項は、 電動工具に関する全ての基本的な安全情報を含んでおり、 準拠する規格に応じた注意事項がこの取扱説明書に記載されています。 したがって、 この取扱説明書で説明する機器には関係のない注意事項が含まれていることもあります。

5.1 電動工具の一般安全注意事項

a) ⚠ **警告事項**

安全上の注意および指示事項をすべてお読みください。 安全上の注意および指示事項に従わない場合、 感電、 火災、 重度のけがをまねく恐れがあります。 **安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。** 安全上の注意で使用する用語 「電動工具」 とは、 お手持ちの電動ツール (電源コード使用) およびバッテリーツール (コードレス) を指します。

5.1.1 作業環境に関する安全

a) **作業場はきれいに保ち、 十分に明るくしてください。** ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。

b) **爆発の危険性のある環境 (可燃性液体、 ガスおよび粉じんのある場所) では電動工具を使用しないでください。** 電動工具から火花が飛散し、 粉じんや揮発性ガスに引火する恐れがあります。

c) **電動工具の使用中、 子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。** 作業中に気がそらされると、 本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

5.1.2 電気に関する安全注意事項

a) **電動工具の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しなければなりません。 プラグは絶対に変更しないでください。 アースした電動工具と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。** オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、 感電の危険を小さくすることができます。

b) **パイプ、 ラジエーター、 電子レンジ、 冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。** 体が触れると感電の危険が大きくなります。

c) **電動工具を雨や湿気から保護してください。** 電動工具に水が浸入すると、 感電の危険が大きくなります。

d) **電動工具を持ち運んだり、 吊り下げたり、 コンセントからプラグを抜いたりするときは、 必ず本体を持ち、 電源コードを持ったり引っ張ったりしないでください。 電源コードを火気、 オイル、 鋭利な刃物、 本体の可動部等に触れる場所に置かないでください。** コードが損傷したり絡まったりしていると、 感電の危険が大きくなります。

e) **屋外工事の場合には、 屋外専用の延長コードのみを使用してください。** 屋外専用の延長コードを使用すると、 感電の危険が小さくなります。

f) **湿った場所で電動工具を作動させる必要がある場合は、 漏電遮断機を使用してください。** 漏電遮断機を使用すると、 感電の危険が小さくなります。

5.1.3 作業者に関する安全

a) **電動工具を使用の際には、 油断せずに十分注意し、 常識をもった作業をおこなってください。 疲れている場合、 薬物、 医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。** 電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。

b) **作業保護具および保護メガネを常に着用してください。** けがに備え、 電動工具使用状況に応じた粉じんマスク、 耐滑性の安全靴、 ヘルメット、 耳栓などの作業保護具を使用してください。

c) **電動工具の不意な始動は避けてください。 電動工具を電源および / またはバッテリーに接続する前や本体を持ち上げたり運んだりする前に、 本体がオフになっていることを必ず確認してください。** オン / オフスイッチが入っている状態で電動工具のスイッチに指を掛けたまま運んだり、 電源に接続したりすると、 事故の原因となる恐れがあります。

d) **電動工具のスイッチを入れる前に、 必ず調節キーやレンチを取り外してください。** 調節キーやレンチ

ja

が本体の回転部に装着されたままでは、 けがの原因となる恐れがあります。

e) **作業中は不安定な姿勢をとらないでください。 足元を安定させ、 常にバランスを保つようにしてください。** これにより、 万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、 適切な対応が可能となります。

f) **作業に適した作業着を着用してください。 だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。 髪、 衣服、 手袋を本体の可動部に近づけないでください。** だぶだぶの衣服、 装身具、 長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。

g) **吸じんシステムの接続が可能な場合には、 これらのシステムが適切に接続、 使用されていることを確認してください。** 吸じんシステムを利用することにより、 粉じん公害を防げます。

5.1.4 電動工具の使用および取扱い

a) **無理のある使用を避けてください。 作業用途に適した電動工具を使用してください。** 適切な電動工具の使用により、 能率よく、 スムーズかつ安全な作業が行えます。

b) **スイッチに支障がある場合には、 電動工具を使用しないでください。** スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、 修理が必要です。

c) **本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜くか、 バッテリーを取り外してください。** この安全処置により、 電動工具の不意の始動を防止することができます。

d) **電動工具をご使用にならない場合には、 子供の手の届かない場所に保管してください。 電動工具に関する知識のない方、 本説明書をお読みでない方による本体のご使用はお避けください。** 未経験者による電動工具の使用は危険です。

e) **電動工具は慎重に手入れしてください。 可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、 電動工具の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。 電動工具を再度ご使用になる前に、 損傷部分の修理を依頼してください。** 発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。

f) **先端工具をきれいに保ってください。** お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、 作業が簡単かつ、 スムーズになります。

g) **電動工具、 アクセサリー、 先端工具などは本説明書内の指示に従って使用してください。 この際、 作業環境および用途に関してもよくご注意ください。** 指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

5.1.5 バッテリーの使用および取扱い

a) **バッテリーを充電する場合は、 必ずメーカー推奨の充電器を使用してください。** 特定タイプのバッテリー専用の充電器を他のバッテリーに使用すると、 火災の恐れがあります。

b) **指定されたバッテリーのみを電動工具に使用してください。** 指定以外のバッテリーを使用すると、 負傷や火災の恐れがあります。

c) **使用しないバッテリーの近くに、 事務用クリップ、 硬貨、 キー、 釘、 ネジ、 その他の小さな金属片を置かないでください。 電気接点の短絡が起こることがあります。** バッテリーの電気接点間が短絡すると、 火傷や火災が発生する危険があります。

d) **バッテリーが正常でないと、 液漏れが発生することがあります。 その場合、 漏れた液には触れないでください。 もしも触れてしまった場合は、 水で洗い流してください。 液体が眼に入った場合は、 水で洗い流してから医師の診察を受けてください。** 流出したバッテリー液により、 皮膚が刺激を受けたり火傷を負う恐れがあります。

5.1.6 サービス

a) **電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。 また、 必ず純正部品を使用してください。** これにより電動工具の安全性が確実に維持されます。

5.2 すべてのソーに対する安全上の注意

5.2.1 切断作業

a) **⚠ 危険**
切断領域やソーブレード付近に手を差し出さないでください。 片方の手で補助グリップまたはモーターハウジングを保持してください。 両手でソーを保持すれば、 ソーブレードで手を負傷することはありません。

b) **作業材料の下側をつかまないでください。** 保護カバーは、 作業材料の下側に出るソーブレードから手を保護することはできません。

c) **切り込み深さを作業材料の厚さに合わせてください。** 作業材料の下に出る部分を歯の全高より小さくしてください。

d) **切断する作業材料を手や足で支えないでください。 作業材料は安定した支持具に固定してください。** 身体の一部が触れたり、 ソーブレードが噛んだり、 制御不能に陥ったりする危険を最小限に抑えるため、 作業材料を正しく固定することは重要です。

e) **隠れた電線に先端工具が接触する可能性のある作業を行う場合は、 必ず電動工具の絶縁されたグリップのみを持つようにしてください。** 通電しているケーブルと接触すると、 電動工具の金属部分にも電圧がかかり感電の危険があります。

f) **縦カットの際には必ずストッパーまたはストレートエッジガイドを使用してください。** これにより切断の正確さを高め、 ソーブレードが噛む可能性を低減することができます。

g) **常に適切な取り付け穴 (星形または丸形など) の付いた正しいサイズのソーブレードを使用してください。** ソーの取り付け部に合っていないソーブレードを使用すると、 回転が不安定になったり、 制御不能になったりする恐れがあります。

h) **ソーブレードワッシャー / スクリューが損傷していたり、 適切でない場合、 決してこれらを使用しないでください。** ソーブレードワッシャー / スクリューは、 最適な出力と作動安全性を確保するためにご使用のソー専用に製造されたものです。

5.2.2 すべてのソーに対するその他の安全上の注意

反動 - 原因とそれに対する安全上の注意 :
反力は、 ソーブレードが引っかかったり噛んだりしたときや、 ソーブレードが正しく設置されていないときに

ja

起こる突然の反応動作で、 制御不能になったソーが作業材料から浮き上がって作業者に向かって跳ね返ることがあります。
ソーブレードが閉じたカットギャップで引っかかったり噛んだりすると、 ソーブレードがブロックされ、 モーター力でソーが作業者の方向に跳ね返ります。
ソーブレードが切断時にずれたり正しく配置されていないと、 後部のソーブレードエッジの歯が作業材料の表面に引っかかり、 ソーブレードがカットギャップから外れて作業者の方に跳ね返ることがあります。
ソーの取り扱いが正しくないと、 反力が生じます。 反力は、 以下に示すような適切な予防措置を取ることで防止することができます。

a) **ソーは両手でしっかりと支え、 反力を受け止めることができるように腕を構えます。 ソーブレードは必ず側部をつかみ、 決してソーブレードが身体のすぐ前にくることのないようにしてください。** 反力がある場合、 サーキュラーソーは後方に跳ね返ることがありますが、 適切な予防措置を講じていれば反力を抑えることができます。
b) **ソーブレードが噛んだ場合あるいは作業を中断する場合は、 ソーをオフにしてソーブレードが停止するまでソーを静かに作業材料内に保持してください。 ソーブレードが動いている間は、 ソーを作業材料から離したり後方へ引いたりしないでください、 そうしないと反力が発生する危険があります。** ソーブレードが噛んでしまったことの原因を確認し、 それを取り除いてください。
c) **作業材料に挿入されているソーを再び作動させる場合は、 ソーブレードをカットギャップの中央に配置し、 歯が作業材料に引っかかっていないかチェックします。** ソーブレードが噛んでいると、 切断を再開したときにソーブレードが作業材料から飛び出たり、 反力が発生する可能性があります。
d) **噛んだソーブレードによる反力の危険を最小限に抑えるために、 大型プレートを支えてください。** 大型プレートはそれ自身の重みでたわむことがあります。 プレートは、 カットギャップ付近と縁部の両側で支える必要があります。
e) **切れ味の悪くなったソーブレードや損傷したソーブレードは使用しないでください。** ソーブレードの歯の切れ味が悪い場合やソーブレードが正しく合っていない場合、 カットギャップが狭くなりすぎて、 摩擦が大きくなったり、 ソーブレードの噛みや反力が起こります。
f) **切断の前に、 切り込み深さおよび切り込み角度の調整レバーを締めてください。** 切断中に調整が変化すると、 ソーブレードが噛んだり反力が発生する可能性があります。
g) **既存の壁やその他の見通しのきかない領域で切断を行う場合は特に注意してください。** 切断時に、 押し込まれたソーブレードが隠れている対象物にブロックされ、 跳ね返る可能性があります。

5.2.3 振動防止カバー付きサーキュラーソーの安全上の注意

下側保護カバーの機能

a) **ご使用の前には毎回、 下部保護カバーが正常に閉じているかどうかを点検してください。 下部保護カバーがスムーズに動かず、 すぐに閉じない場合は、 ソーを使用しないでください。 下部保護カバーを開いた位置のまま留めないでください。** ソーをうっかり床に落とした場合、 下部保護カバーが変形する可能性があります。 保護カバーを引きレバーで開いて、 カバーが自由に動くこと、 すべての切り込み角度および深さでソーブレードや他の部分と接触しないことを確認してください。
b) **下部保護カバー用スプリングの機能を点検してください。 下部保護カバーとスプリングが正常に作動しない場合は、 ご使用前にソーの整備を依頼してください。** 損傷した部品、 固着した付着物、 切り屑の堆積は下部保護カバーの作動を鈍らせます。
c) **「プランジカットおよび斜めカット」 のような特別な切断の場合のみ、 手で下部保護カバーを開いてください。 下部保護カバーを戻りレバーで開き、 ソーブレードが作業材料に入り込んだらすぐにレバーを放してください。** 他のすべての切断作業の場合、 下部保護カバーは自動的に作動しなければなりません。
d) **ワークベンチまたは床にソーを置く場合は、 必ず下部保護カバーでソーブレードを保護してください。** 保護されていないソーブレードが遅延作動すると、 ソーが切断方向と反対に動いてソーブレードが引っかかります。 この場合、 ソーの遅延作動時間に注意してください。

5.3 その他の安全上の注意

5.3.1 作業者に関する安全

a) **耳栓を着用してください。** 騒音により、 聴覚に悪影響が出る恐れがあります。
b) **本体を支えるときは、 必ず両手でグリップを持ってください。 グリップは乾いた清潔な状態に保ち、 オイルやグリスを付着しないでください。**
c) **本体に集じん装置を取り付けないで作業をする場合、 作業される方は防じんマスクを着用しなければなりません。**
d) **本体は必ず付属の安全装置と共に使用してください。**
e) **本体は指示にしたがい、 必ず異常がない状態で使用してください。**
f) **休憩を取って緊張をほぐし、 指を動かして血の巡りを良くするように心がけてください。**
g) **本体の電源は必ず作業場で入れてください。**
h) **本体を保管および搬送するときは、 バッテリーパックを取り外してください。**
i) **作業時には必ず本体を身体から離すようにしてください。**
j) **本体を頭より上の高さで使用しないでください。**
k) **ソーブレードを横に押し付けて本体を制動しないでください。**
l) **本体作動中は、 テンションフランジやテンションボルトに触れないでください。**
m) **ソーブレードが回転しているときに、 スピンドルロック用のプッシュボタンを押さないでください。**
n) **本体を人に向けないでください。**
o) **ソーブレードと加工する母材にフィード力を合わせ、 ソーブレードがブロックされたり反力が起こらないようにします。**
p) **歯の先端が過熱しないようにしてください。**

q) 金属切り屑は鋭く、 負傷不詳の原因となることがあります。 **衣服はボタンなどをかけてしっかりと着用し、 切り屑が手袋、 靴あるいは衣服に入り込まないようにしてください。**

r) 金属切り屑の落下位置に注意してください。 **切り屑は熱く、 火災、 火傷および切創事故の原因となることがあります。**

s) **本体で遊んではいけないことを子供に伝えてください。**

t) **本体は、 子供や体の弱い人が指示を受けずに使用するには向いていません。**

u) 含鉛塗料、 鉱物、 金属などの母材から生じた粉じんは、 健康を害する恐れがあります。 作業者や近くにいる人々が粉じんに触れたり吸い込んだりすると、 アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。 粉じんのなかには、 発ガン性のあるもの （特に添加材 （クロム酸塩） と化合した場合） もあります。 アスベストが含まれる母材は、 必ず専門家が処理を行うようにしてください。 **作業場の換気に十分配慮してください。 フィルタークラス P2 の防じんマスクの着用をお勧めします。 処理する母材について、 各国で効力を持つ規定を遵守してください。**

5.3.2 電動工具の取扱いと手入れ

a) **作業材料を固定します。 作業材料を締め付ける時は、 クランプあるいは万力を使用してください。** この方が手で押さえるよりも確実であり、 本体を両手で自由に操作することができます。

b) **使用する先端工具がチャック機構に適合し、 チャック内にしっかりと固定されていることを確認してください。**

c) **金属切り屑が本体あるいはバッテリーパック内に入り込まないように注意してください。**

d) **本体を本体ケース、 工具箱あるいは搬送用ケースに収納する前に、 必ず切り屑ホルダーを空にして本体を清掃してください。** これを怠ると、 切り屑は容易に容器から本体、 バッテリーパックあるいは充電器へと入り込んで、 損傷の原因となることがあります。

5.3.3 電気に関する安全注意事項

作業を開始する前に、 作業場に埋設された電線、 ガス管や水道管がないかを金属探知機などで調査してください。 例えば、 作業中に誤って先端工具が電線に触れると、 本体の金属部分とケーブルが通電する可能性があります。 この場合、 感電による重大な事故が発生する危険があります。

5.3.4 バッテリーパックの慎重な取扱いおよび使用

a) **LI-Ion バッテリーパックの搬送、 保管、 作動には特別規定を守ってください。**

b) **バッテリーパックは高温と火気を避けて保管してください。** 爆発の恐れがあります。

c) **バッテリーパックを分解したり、 挟んだり、 80 °C 以上に加熱したり、 燃やしたりしないでください。** これを守らないと、 火災、 爆発、 腐食の危険があります。

d) **必ず本体用に許可されたバッテリーパックのみを使用してください。** 許可されていないバッテリーパックを使用したり、 許可されていない用途にバッテリーパックを使用すると、 火災や爆発の危険があります。

e) **損傷したバッテリーパック （例えば亀裂や破損箇所があったり、 電気接点が曲がっていたり、 押し戻されていたり、 引き抜かれているバッテリーパック） の充電や使用はしないでください。**

f) バッテリーパックがつかむことのできないほどに熱くなっている場合は、 故障している可能性があります。 **本体を監視可能な火気のない場所に可燃性の資材から十分に距離をとって置き、 冷ましてください。 バッテリーパックを冷ました後、 ヒルティサービスセンターにご連絡ください。**

5.3.5 作業場の安全確保

a) **作業場の採光に十分配慮してください。**

b) **作業場の換気に十分配慮してください。** 作業場の換気が十分でないと、 粉じんによる汚染で健康が害される恐れがあります。

5.3.6 個人保護用具

本体使用中、 作業者および現場で直近に居合わせる人々は保護メガネ、 保護ヘルメット、 耳栓、 保護手袋および防じんマスクを着用しなければなりません。

5.3.7 安全機構

ソーブレード、 保護カバーあるいは振動防止カバーが正しく取り付けられていない場合は、 本体をオンにしないでください。

6 ご使用前に

6.1 バッテリーパックの慎重な取扱い

注意事項
低温ではバッテリーパックの力が低下します。 バッテリーの充電量が少なくなった場合は、 本体が完全に停止するまで作業を続けないでください。 予備のバッテリーと交換してください。 効率が落ちたバッテリーパックは、 交換後速やかに充電してください。

バッテリーパックを使用しない場合は、 できるだけ涼しくて乾燥した場所に保管してください。 バッテリーパックを太陽の直射下、 ラジエーターの上、 窓際等で保管しないでください。 寿命となったバッテリーの廃棄は、 リサイクル規制により定められた方法で確実に行ってください。
バッテリーパックを適切な充電器に挿入します。

6.2 バッテリーパックの充電

危険
指定されたヒルティバッテリーパックと、「アクセサリー」 の項に記載のヒルティ充電器以外は使用しないでください。

危険
バッテリーパックを充電器にセットする前に、 バッテリーパックの表面の汚れを落とし、 乾かしてください。 充電方法については、 充電器の取扱説明書を参照してください。

6.2.1 バッテリーパックの初充電

はじめてお使いになる前にはバッテリーパックをフル充電してください。

6.2.2 使用されたバッテリーパックの充電

バッテリーパックを充電器にセットする前に、 バッテリーパックの表面の汚れを落とし、 乾かしてください。 充電方法については、 充電器の取扱説明書を参照してください。
Li-Ion バッテリーパックは、 部分的にしか充電されていない状態であっても常に挿入することができます。 充電の進行状況は LED で表示されます （充電器の取扱説明書を参照）。

6.3 バッテリーパックの装着

注意
バッテリーパックを装着する前に、 本体がオフになっていてスイッチオンロックが有効 (押されていない状態) になっていることを確認してください。 必ず本体用に許可されたヒルティバッテリーパックを使用してください。

注意
バッテリーパックを本体に装着する前に、 バッテリーパックの電気接点と本体の電気接点に異物が入っていないか確認してください。

1. バッテリーパックを本体の後部にあてがいながら、 カチッカチッと音がするまで挿入します。
2. **注意**バッテリーパックが落下してご自身あるいは他の方が怪我をする恐れがあります。
   バッテリーパックが本体にしっかりと固定されていることを確認してください。

6.4 本体からバッテリーパックを取り出す

1. バッテリーの両サイドにあるリリースボタンを押し、 そのまま押し続けます。
2. バッテリーパックを本体から後ろへ引き抜きます。

6.5 バッテリーパックの搬送および保管

注意
本体を本体ケース、 工具箱あるいは搬送用ケースに収納する前に、 必ず切り屑ホルダーを空にして本体を清掃してください。 これを怠ると、 切り屑は容易に容器から本体、 バッテリーパックあるいは充電器へと入り込んで、 損傷の原因となることがあります。

バッテリーパックを引いて、 ロック位置 （作業位置） から最初のロック位置 （トランスポートロック位置） へ動かします。
搬送あるいは保管のためにバッテリーパックを本体から取り外す際は、 バッテリーパックの電気接点がショートしないことを確認してください。 本体ケース、 先端工具箱あるいは搬送用ケースからねじ、 ネイル、 クランプなどの緩んだ金属製部品、 緩いビット、 針金あるいは金属屑などを取り除くか、 あるいはこれらがバッテリーパックと接触しないようにしてください。
バッテリーパックを輸送 （トラック、 鉄道、 船舶あるいは航空機による輸送） する際は、 輸送に関する各国および国際的な規定に注意してください。

7 ご使用方法

注意事項
ソーブレードがブロックされた場合、 フィード力が除かれても本体は自動的に再起動しません。 スイッチオンロックと ON/OFF スイッチを新たに押してください。

注意事項
作業時には必ず切り屑ホルダーを使用してください。

注意
保護手袋を着用してください。 ソーブレードおよび作業材料のカッティングエッジは鋭くなっています。 カッティングエッジで怪我をする恐れがあります。

注意
簡易防じんマスクおよび保護メガネを常に着用してください。 切断作業により、 粉じんや切屑が空気中に渦巻きます。 粉じんや切屑が気管、 眼などを傷つけることもあります。

注意
耳栓を着用してください。 本体および切断作業は騒音を発生させます。 騒音により、 聴覚に悪影響が出る恐れがあります。

注意
作業材料を固定します。 作業材料を締め付ける時は、 クランプあるいは万力を使用してください。 このようにすることで、 作業材料が回転することを防ぎます。

注意
余りに幅の狭い材料は切断しないでください。 幅の狭い材料はソーに引き込まれてソーが動かなくなる原因となったり、 あるいはソーから飛び出して負傷の原因となることがあります。

注意
切断作業時には、 近くに可燃性のものがないこと、 また熱い切り屑が簡単に着火する物質に落下することのないように注意してください。

注意
切断時には冷却剤および潤滑剤は使用しないでください。

7.1 ソーブレードを交換する

注意
先端工具の交換時には、 保護手袋を着用してください。 先端工具、 テンションフランジ、 テンションボルトは高温になります。

注意
取り付けるソーブレードが技術的な要求を満たし、 よく切れることを確認してください。 鋭いソーブレードは正常な切断の前提条件です。

7.1.1 ソーブレードの取り外し 2

1. バッテリーパックを本体から引き出します。
2. スピンドルロックボタンを押して、 その状態を保ちます。
3. アレンレンチでソーブレードの固定用ネジを回し、 ロックピンを完全にかみ合わせます。
4. レンチを使用して時計方向にさらに回して固定用ネジを緩めます。
5. 固定用ネジと外側のテンションフランジを取り外します。
6. 振動防止カバーを開いて、 ソーブレードを外します。

7.1.2 ソーブレードの取り付け 3

1. バッテリーパックを本体から引き出します。
2. サポートフランジとテンションフランジを清掃します。
3. サポートフランジを取り付けます。
4. 振動防止カバーを開きます。
5. **注意必ず本サーキュラーソーに適したソーブレードを使用してください。 ソーブレード上の回転方向矢印に注意してください。**
   新しいソーブレードを取り付けます。
6. 外側のテンションフランジを取り付けます。
7. スピンドルロックボタンを押します。
8. テンションボルトを反時計回りに回してテンションフランジを固定します。
9. ご使用前に、 ソーブレードがしっかり固定されているか点検してください。

7.2 切り込み深さの調整 4

切り込み深さは 0 ... 57 mm の間で無段階に調整することができます。
1. バッテリーパックを本体から引き出します。
2. 本体を土台の上に置きます。
3. 切り込み深さ調整のリリースレバーを緩めてください。
4. 本体を斜めに動かして持ち上げ、 リリースレバーを締め付けて切り込み深さを調整します。

7.3 ポインターに基づく切断

ソーブレードの位置はベースプレートのマークにより表示されます。 これにより、 精密な切断を行うことができます。 ポインターエッジはソーブレードの内側に相当します。 覗き窓からポインターがよく見えるので、 精密な切断ができます。
1. 作業材料を動かないように固定します。
2. ソーブレードが作業材料の下で自由に回転できるように、 作業材料を配置してください。
3. 本体の ON/OFF スイッチがオフになっていることを確認してください。

4. バッテリーパックを本体に挿入してください。
5. 本体のベースプレートを作業材料上に置きます。 その際、 ソーブレードがまだ作業材料と接触しないようにしてください。
6. スイッチオンロックを押した状態で ON/OFF スイッチを押して本体をオンにします。
7. 本体を適切な作業速度に合わせ、 ポインターに沿って作業材料を切断します。

7.4 平行ストッパーによる切断 (アクセサリー)

シングルアームの平行ストッパーにより、 作業材料エッジに沿った正確な切断または同じ寸法のストリップの切断が可能です。
平行ストッパーはベースプレートの両側に取り付けることができます。

7.5 平行ストッパーの取り付け / 調整 5

1. バッテリーパックを本体から引き出します。
2. クランプを押します。
3. 平行ストッパーを必要なだけベースプレートへとずらします。
4. 希望の間隔になったらクランプから手を放します。

7.6 切り屑ホルダーを空にする 6

注意
切り屑ホルダーを空にする際は保護手袋を着用してください。 切り屑は鋭く、 また熱くなっていることがあります。

注意
本体を本体ケース、 工具箱あるいは搬送用ケースに収納する前に、 必ず切り屑ホルダーを空にして本体を清掃してください。 これを怠ると、 切り屑は容易に容器から本体、 バッテリーパックあるいは充電器へと入り込んで、 損傷の原因となることがあります。

本体の使用中は、 覗き窓により容器が一杯かどうかをチェックできます。

1. バッテリーパックを本体から引き出します。
2. 切り屑ホルダーを後方へ引きます。
3. 半分に分かれた切り屑ホルダーをそれぞれ旋回させて、 切り屑ホルダーを空にします。
4. 切り屑ホルダーをカバーに取り付けてロックされるまでスライドします。

7.7 切り屑ダクトが詰まった場合の作業手順

1. バッテリーパックを本体から引き出します。
2. 切り屑ホルダーを取り外します。
3. 切り屑ダクトを清掃します。
4. 本体の可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、 本体の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。

ja

8 手入れと保守

注意
本体が不意に始動することがないよう、 清掃作業を始める前にバッテリーパックを取り外してください。

8.1 先端工具の手入れ

先端工具の表面に付着した汚れを取り除きます。 時折、 油を染みこませた布で表面を磨いて腐食から守ってください。

8.2 本体の手入れ

注意
本体、 特にグリップ表面を乾燥させ、 清潔に保ち、 オイルやグリスが付着していないようにしてください。 洗剤、 磨き粉等のシリコンを含んだ清掃用具は使用しないでください。

本体の外側ボディは、 耐衝撃性プラスチックで作られています。 グリップ部分は合成ゴムを使用しています。
通気溝が覆われた状態で本体を使用しないでください。 通気溝を乾いたブラシを使用して注意深く掃除してください。 本体内部に異物が入らないようにしてください。 定期的に、 少し湿した布で本体表面を拭いてください。 スプレーやスチームあるいは流水などによる清掃は避けてください。 電気上の安全面に悪影響が出る可能性があります。

8.3 Li-Ion バッテリーパックの手入れ

湿気が入らないようにしてください。
はじめてお使いになる前にはバッテリーパックをフル充電してください。
バッテリーパックを最大寿命で使用できるように、 バッテリーのパワーが著しく低下したら直ちに放電を中止してください。
注意事項
作動を続けると、 セルの損傷を防ぐために放電が自動的に終了します。

バッテリーパックは Li-Ion バッテリーパック用に許可されたヒルティ充電器で充電してください。
注意事項
- NiCd または NiMH バッテリーパックのようなバッテリーパックのコンディショニングは必要ありません。
- 充電を中断しても、 バッテリーパックの寿命に影響はありません。
- バッテリーの寿命に影響を及ぼすことなく、 いつでも充電を開始することができます。 NiCd または NiMH バッテリーパックのようなメモリー効果はありません。
- バッテリーパックはフル充電した状態でできるだけ涼しくて乾燥した場所に保管するのが最適です。 周囲温度が高い場所 (窓際) にバッテリーパックを保

管すると、 バッテリーパックの寿命に影響が出て、セルの自己放電率が上昇します。
- バッテリーパックが完全に充電できなくなった場合は、 劣化や過負荷で容量が低下しています。 このようなバッテリーパックを使用して作業することはできます。 しかし、 このようなバッテリーパックは近いうちに新しいバッテリーパックに交換する必要があります。

8.4 安全機構の清掃

1. 安全機構を清掃するためにソーブレードを取り外します。
2. 安全機構を乾いたブラシを使用して注意深く掃除してください。
3. 安全機構内部の塵埃の堆積や切り屑は適切な工具を使用して除去してください。
4. ソーブレードを取り付けます。

8.5 保守

警告事項
本体の電気系統部分の修理は訓練された修理スペシャリストのみができます。

本体の全ての表面パーツに損傷がないか、 また全ての装置が支障なく作動するか確認してください。 パーツが損傷していたり、 装置が正しく作動しない場合は、 本体を使用しないでください。 修理が必要な場合は、 弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にご連絡ください。

8.6 手入れと保守を行った後の点検

手入れ、 保守の作業を済ませた後は、 全ての安全機構が装着され、 正常に作動していることを確認しなければなりません。
振動防止カバーをチェックするには、 操作レバーにより振動防止カバーを完全に開きます。
操作レバーから手を放した後、 振動防止カバーは素早くかつ完全に閉じなければなりません。

9 故障かな？ と思った時

症状	考えられる原因	処置
本体が始動しない。	バッテリーパックが正しくロックされていないか、 あるいはバッテリーパックの放電。	バッテリーパックをカチッカチッとロック音がするまで挿入するか、 あるいはバッテリーパックを充電する。
	電気的故障。	本体からバッテリーパックを取り外し、 ヒルティサービスセンターに連絡する。
	バッテリーパックが空 / 高温。	過放電保護 / 電子回路がオフに切り換わる。 バッテリーパックを充電器に挿入する、 または冷やす。
オン / オフスイッチが押せない、 あるいは動かない。	故障でない （安全機能）。	スイッチオンロックを押す。
回転数が突然落ちる。	ソーブレードが噛んでいる。	ソーブレードをまっすぐにする。
切り屑が切り屑容器へと送られずにベースプレートへと落下する。	切り屑容器が満杯か、 あるいは切り屑ダクトが詰まっている。	切り屑容器を空にする、 および / または切り屑ダクトを清掃する。
ソーブレードが停止したまま動かない。	フィード力が過大。	フィード力を低減して本体を再びオンにする。
本体が作動せず、 4 個すべての LED が点滅。	本体に短期的に過負荷がかかっている。	コントロールスイッチを放して、 押し直す。
	過熱保護が作動した。	本体を冷やす。 通気溝を清掃する。
本体が作動せず、 LED 1 が点滅する。	バッテリーパックの放電。	バッテリーパックを交換し、 空のバッテリーパックを充電する。
	バッテリーパックの温度が高すぎる、 または低すぎる。	バッテリーパックを推奨運転温度まで冷やす / 暖める。
バッテリーパックの消耗が通常よりも早い。	バッテリーパックの状態が好ましくない。	ヒルティサービスセンターで診断するか、 またはバッテリーパックを交換する。

症状	考えられる原因	処置
バッテリーパックが 「カチッカチッ」 と音がするまでロックされない。	バッテリーパックのロックノッチが汚れている。	ロックノッチを清掃して、 バッテリーパックをロックする。 問題が再発する場合は、 弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にご連絡ください。
本体あるいはバッテリーパックが熱くなる。	電気的故障。	本体の電源を直ぐに切ってバッテリーパックを取り外し、 ヒルティサービスセンターに連絡する。
	本体に負荷がかかり過ぎている （適用基準を超えている）。	用途に合った工具を選択する。

10 廃棄

注意
装備を誤った方法で廃棄すると、 次のような危険があります : プラスチック部分の燃焼時には人体に有害な有毒ガスが発生します。 電池は損傷したりあるいは激しく加熱されると爆発し、 毒害、 火傷、 腐食または環境汚染の危険があります。 廃棄について十分な注意を払わないと、 権限のない者が装備を誤った方法で使用する可能性があります。 このような場合、 ご自身または第三者が重傷を負ったり環境を汚染する危険があります。

注意
故障したバッテリーパックはただちに廃棄してください。 バッテリーパックは子供の手の届かない所に置いてください。 バッテリーパックを分解したり、 燃やしたりしないでください。

注意
バッテリーは、 各国の規制に従って廃棄してください。

本体の大部分の部品はリサイクル可能です。 リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。 多くの国でヒルティは、 古い電動工具をリサイクルのために回収しています。 詳細については弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にお尋ねください。

EU 諸国のみ

本体を一般ゴミとして廃棄してはなりません。

古い電気および電子工具の廃棄に関するヨーロッパ基準と各国の法律に基づき、 使用済みの電気工具は一般ゴミとは別にして、 環境保護のためリサイクル規制部品として廃棄してください。

11 本体に関するメーカー保証

保証条件に関するご質問は、 最寄りのヒルティ代理店・販売店までお問い合わせください。

12 EU 規格の準拠証明（原本）

名称：	充電式サーキュラーソー
機種名：	SCM 22-A
製品世代：	01
設計年：	2011

この製品は以下の基準と標準規格に適合していることを保証します：2006/42/EG、 2004/108/EG、2006/66/EG、2011/65/EU、EN 60745-1、EN 60745-2-5、EN ISO 12100.

Hilti Corporation 、 Feldkircherstrasse 100 、 FL-9494 Schaan

Jan Doongaji
Executive Vice President

Business Unit Power Tools & Accessories
12/2011

Paolo Luccini
Head of BA Quality and Process Management
Business Area Electric Tools & Accessories
12/2011

技術資料：

Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH
Zulassung Elektrowerkzeuge
Hiltistrasse 6
86916 Kaufering
Deutschland

Hilti Corporation
LI-9494 Schaan
Tel.: +423 / 234 21 11
Fax: +423 / 234 29 65
www.hilti.com

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan
W 4082 | 0214 | 00-Pos. 8 | 1
Printed in China © 2014
Right of technical and programme changes reserved S. E. & O.

2033298 / A6

Printed: 12.03.2014 | Doc-Nr: PUB / 5075280 / 000 / 03